

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 松本 賢次郎

会員各位

日ごとに寒さが身にしみる頃となってまいりましたが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今号は、11 月 1 日（金）に開催されました佐賀県公立小中学校事務研究大会についての報告です。

第 45 回 佐賀県公立小中学校事務研究大会 報告



会長あいさつ

佐賀県公立小中学校事務研究会 会長 松本 賢次郎

今年は佐賀をはじめ災害が多い年になりました。被災されました方々には心よりお見舞い申し上げます。気候変動により過去の経験だけでは対応できない新たなレベルの災害に向き合わなければならないということを感じます。私たちも学校の職員として、教育行政職員として何ができるか考えていかなければいけないと思います。



佐事研が設立されて今年で 22 年以上がたちました。それまでなかったものができたということを知っている立場と、初めからあって当然という立場では主体的な関わり方に違いが出てくると思います。佐事研を推進してきたエネルギーの根源である創世の志を伝えていくことに大きな意味があると感じます。「創世者の次の世代」としての使命は、創世者の思いを次の世代に継承していくことと考えます。そのために佐事研本来の役割を強化して、会員が「私の佐事研」と思えるようにしていきたいと思います。

数年後の全事研佐賀大会開催につきましては、開催自体が目的ではなく「私の佐事研」と思えるような契機、起爆剤にしていきたいと考えています。全国大会を成功させることで佐事研をひとりひとりの誇りにしていきたいと思います。

来賓あいさつ

4 名の来賓の皆様よりご挨拶いただきました。

佐賀県教育委員会 教育長 落合 裕二 様

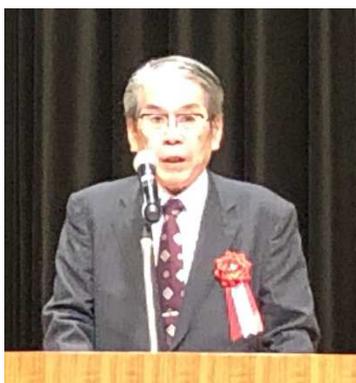
(挨拶 佐賀県教育庁教職員課参事 徳永 丞 様)

佐賀県市町教育長会連合会 会長 武雄市教育委員会 教育長 浦郷 究 様

佐賀県小中学校校長会 会長 佐賀市立巨勢小学校 校長 富永 英美 様

佐賀県立学校事務職員協会 会長 佐賀西高等学校統括事務長 岩崎 正 様

今回は、武雄市教育委員会教育長 浦郷様のご挨拶を紹介させていただきます。



毎年研究的で協働的な取り組みを続けられ、全国でも先進的で着実な成果につなげていただいていることに敬意を表し感謝を申し上げます。10数年前には教育事務所に事務職員の方が在籍しており、時期になると夜遅くまで手当の確認をされていた時代を思い出します。その頃と比べてさらに主体的に責任感を持って取り組んでいただいております、非常に参画意欲を高めて協調性を持って取り組んでいただいていると感じます。支援室制度が始まって、業務だけでなくそのような意識を高めていただいているのではないかと感じます。また、市内の主事の方の働き方改革の提言を見せていただきましたが、①分業②手段の見直し③適材適所の活用④予算的対応⑤意識することを挙げられていました。学校経営に直結している内容であり、単純に教員の仕事を事務職員に移管するだけでは解決しないという結論となっておりました。就任2年目の方ということで非常に感動いたしました。これからますます学校のマネジメント力、チーム力の強化のために責任と権限を持って参画いただくことを期待します。

講演1 「学校教育における教育行政職員の役割」

兵庫教育大学大学院 准教授 川上 泰彦 様

教育行政職の仕事を知らない人に自分の仕事をどう説明するか？ということを取り上げ、仕事のイメージのつかみにくさの理由はどこにあるのかを説明していただきました。仕事の変化にふりまわされないためには「俯瞰力」が大切であり、俯瞰力を養うために今までやってきていることがどうつながっていて、いかに大事かということ、社会的背景をふまえ、広くわかりやすく解説していただきました。



- ・自分の職のイメージがつかみにくいのは、「個人職であるためこの先どうなっていくのか」という見通しが立ちにくい」「政策や学校のイメージの変化の道筋がつかめない」というものがある。
- ・目先の動きにとられると変化のたびに大きく道筋が変わるように感じて疲れてしまう。目先の変化にふりまわされないために「俯瞰力」を身につけることが大切。
- ・これまでの学校教育で重視されていた「大規模に行き渡らせること」が頭打ちになり、「きめ細やかな対応」が求められるようになった。（学校教育の供給イメージの変化）
- ・きめ細かく対応するには手間暇をかけることが求められる。そのためにはより多くのマンパワーや施設設備が必要になるが、強い資源制約があるというジレンマがある。

- ・地域・学校にどのような資源があるのかに気づき、足りない中でどうやりくりをするのかということがマネジメントであり、気づくことができなければマネジメントもできない。
- ・日々の実務にあたっていると俯瞰する暇がなかなか無いため追われている感が出やすい。そのため俯瞰する機会、勉強する機会をとることが大切。自分たちで考え、まわりと調整するための個人と組織の向上（考える力と実行力）が必要になる。

パネルディスカッション

「時代を読み、変化し続ける教育行政職員」

パネラー	兵庫教育大学大学院	准教授	川上 泰彦 様
	岡山県美咲町立加美小学校	事務主任	大天 真由美 様
進行役	神崎市立神崎中学校	事務主任	橋間 和隆



パネルディスカッションでは、「学校経営に参画する教育行政職員の役割」と、「変化対応力を身に付けるために明日からできること」の二つの議題をもとに、意見交換が行われました。パネラーの方々だけではなく、会場の参加者の方々からも意見が飛び交い、活発な討議となりました。

学校経営に参画する教育行政職員の役割

- ◎学校を取り巻く環境は変化しているが、教育行政職員として学校運営にどのように参画していくか。「参画」のイメージは、人それぞれ異なるが、何をもって「参画」というのか。
 - ⇒校内組織強化のため企画委員のメンバーに入ることも学校運営参画の一つ。
 - ⇒佐賀県では、以前より財務を扱っていた。財務を扱うことは、学校運営に参画していると言える。本県では、「運営参画・つかさどる」ベースは出来上がっていた。
- ◎働き方改革についてどう参画しているか。
 - ⇒仕事を誰に振るのかを考えるのも働き方改革の参画。事務が幅広いアイデアを持つことが大切。
 - ⇒理想の一日をデザインする。俯瞰することが必要。
 - ⇒日本は職能開発の時間が国際的に見て少ない。専門職として危機的状況である。そもそも働き方改革は、単に勤務時間を短くすることではなく、「授業改革」のための時間を生み出すためにやっているということを理解しておくことが重要。

変化対応力を身に付けるために明日からできること

◎効果的な育成方法、心がけ。

⇒ルックアップする時間、きっかけを持つ。

⇒自分なりのアウトプットをする。細かな失敗を恐れずチャレンジしていく。

⇒悩んでいることはチャンスと捉える。

⇒共同実施単位でチャレンジ精神を育むことが大切。

講話Ⅱ 「学校教育目標実現に迫る学校事務」

岡山県美咲町立加美小学校 事務主任 大天 真由美 様

美咲町の事務職員を核にした教育改革と、教育目標実現に迫る学校事務として「つかさどる」事務職員の働き方についてご講演いただきました。共同実施における取組や加美小学校での取組を例に、事務職員のリソース・マネジメント機能を生かしながら、どのように教育目標の実現に参画していくかをお話いただきました。



・美咲町の共同実施の取組

美咲町では、事務職員、校長、教育委員会で常に学校課題や取組を共有している。各学校課題に対しては共同実施全体の課題として取り組み、美咲町の課題に対しては行政区の視点で共同実施に取り組んでいる。まだまだ課題もあるが、共同実施は学校経営に大変良い影響を与えている。

・加美小学校における学校改革イノベーションについて

学校事務職員は運営スタッフではなく経営スタッフであるという思いで、加美 MIRAI ミーティングと題し学校教育目標を一から作った。すべては子どもたちが幸せになるために、自ら幸せを創り出す力を育むための具体的な方策を練り、地域の方とも協力しながら新たな教育理念を作りだした。

・標準的職務内容における事務職員の役割について

様々な分野の職務に事務職員が主体的に関わっていくことが明示されており、マネジメントする職務領域として多岐にわたる業務があげられている。マネジメント業務の一環として、加美小学校では校内組織の機能強化を行っており、そのなかで事務職員は、教師業務アシスタント・マネジメント業務、地域学校協働活動マネジメント業務を担っている。

・まとめ

教員とともに現場で目の前の子供たちと関わっていける事務職員本来の強みは、身の回りの沢山の資源（リソース）に気づき、それらをどう生かしていくかということである。どのようにして資源を最大限に活用するかということに、事務職員の醍醐味を感じて欲しい。

発表 I 「学校における災害対策」

北方中学校 主事 上田 祐大



消防防災課で勤務された経験を元に、災害対策に関する法体系や、過去の事例、災害に対する備えの重要性を発表していただきました。

リスクを知り、実際に備える（家具を固定する、備蓄を準備しておく）など、小さなことでもできることから始めることが、災害対策につながることを教えていただきました。

- ・ 事務職員の役割
⇒ 事務職員（特に管理職）は危機管理の役割を期待されている
- ・ 適切なリスク管理を
⇒ 学校現場で実効性の高い対策を講じることは難しい現状
⇒ リスク回避的な方法もあることを知っておく
- ・ 何よりも命優先
⇒ 生徒の安全も職員の命があつてこそ
⇒ 家族の命を守るためにもできることから対策を



編集後記

今年には佐賀でも甚大な水害が発生し、今まではどこか遠くの出来事だと感じていた災害がとても身近に感じた年でした。今大会の中で、変化に対応していくためには「俯瞰力」が必要だというお話がありました。教育行政職員として、災害だけに限らず、様々な変化に柔軟に対応していくためにも、幅広い視野を持って職務にあたることが重要であると感じました。

これからも皆様の仕事に役に立つような情報を、部長をはじめ、情報推進部員一同、会員の皆様に向けてお届けできるよう活動していきたいと思えます。

